



# おおみなみ

笑顔あふれる 大南

～自分もよく、相手もよく、みんなもよく～



令和6年度

練馬区立大泉南小学校

校長 田村 亜紀子

令和6年 8月30日

TEL03-3922-1371

## 「 自己の成長 」

校長 田村 亜紀子

長い夏休みでしたが、今年の夏は猛暑日が続き、熱中症アラートも途絶えることなく発令されていました。また、ゲリラ雷雨や台風など、自然の猛威を痛感する日々でもありました。ご家庭におかれましても、皆様が安全に過ごされるために、ご苦勞なされたことと推察いたします。また、被災に遭われた方々には、心から、1日も早く日常が取り戻されるよう、祈念いたします。

さて、そのような夏休みも終わり、学校に子供たちの声が帰ってきます。2学期は、年度の中でも一番長く、充実した学期です。音楽会などの学校行事や、遠足などの学年での行事、見学や訪問などの体験学習もあり、各学年でいっそうの成長が図られる時期となります。

この夏の大きな話題としては、「パリ オリンピック2024」が挙げられます。この大会は7月26日から8月11日まで、パリを中心に開催されました。また、「パリ パラリンピック2024」も8月28日から9月9日まで開催されています。日本とフランスの時差もあり、リアルタイムでの応援は深夜に及ぶこともありましたが、「本気」のたたかいを観戦する中で、様々な「ドラマ」がありました。結果として、オリンピックにおいては、チーム日本として、金メダルが20個、銀メダルが12個、銅メダルが13個と、海外開催のオリンピックで最多のメダル数となりました。

兄妹での連覇を期待されながらも2回戦で敗退し、号泣する姿。兄を応援する中で、気持ちを切り替えていく姿。団体戦で、見事、銀メダルを獲得した姿。

新しい競技の中でも、常に新しい技をくりだしていく姿。

仲間を信じ、最後まであきらめずに必死にボールに食らいつく姿。……

まだまだ、たくさんの姿がありました。どの姿も、私たちを熱くさせ、応援にも自然と力が入りました。「日本の代表」「メダル」といった期待や重責を背負いながら、それをも糧として、自分の力を出し切る強さや、己を信じ、仲間を信じ支え合う心など、多くのものを感じました。

オリンピックほどすさまじいものではありませんが、子供たちを育てる中にも、同じようなことが少しずつ起こっています。私たち大人は、子供たち一人一人のよさを見付け、そのよさを伸ばすために、励ましていきます。さらに、「もっとできるよ。期待しているよ。」と応援することで、その子もがんばろうとし、力をさらに発揮していきます。そして、自分の成長を感じながら、「自分もやればできるんだ。」という自信を大きくしていきます。学校生活においては、先生からだけでなく、友達とも交流しながら、よりよく生活するために考えていきます。その仲間からの応援や信頼、励ましは、何よりも新しい力となって、自分自身が「よりよく生きる」ために、いっそうの成長が促されます。

どの時代においても、人間は人と人との間で成長します。様々な人と関わりながら、自分がよりよく生きることは、よりよい社会を築くことにもつながります。私たち大人は、子供たちがよりよい未来の社会をつくる大人になるために、今の目の前の子供たちに、どんなことを投げかけていくのか、どのように成長を促していくのかが問われています。日々の学習はもちろん、学校生活や豊かな体験的な学習を通して、一層の成長となるよう、尽力してまいります。

### トイレ改修工事のお知らせ

7月末から本校のトイレ改修工事が始まっております。夏季休業中は、主に校舎東側トイレの洋式化工事を行い、2学期以降、西側トイレの全面改修工事に入ります。そのため、西側トイレの使用ができず、また西側トイレ前廊下に衝立があり、廊下が狭くなります。校舎裏に足場が組まれ駐輪場が狭くなりますので、できるだけ自転車でのご来校はご遠慮願います。児童の安全第一に指導をしていきます。ご不便ご迷惑をおかけすることとなりますが、ご承知おきください。